

シイタケ優良品種選抜試験

(県単課題 研究期間昭和60年～平成6年)

研 究 員 内 山 寛
 専 門 技 術 員 物 江 修
 研 究 員 大 槻 晃 太
 現 県 中 林 業 事 務 所
 主 任 改 良 普 及 技 師 松 崎 明

I はじめに

本県の気象条件に適応する系統、特に乾シイタケに好適な品種（自然栽培）の選抜を目的として、当場で天然に採取した系統、及び交配を行った系統、並びに市販菌について、試験をおこなったものである。

II 調査方法

各年度の設定区の供試系統を表-1に示す。本報では昭和60年から平成5年設定試験区までに供試した選抜菌114系統、市販菌67系統、合計延べ181系統のうち、中低温菌を中心に春期における自然子の発生状況を取りまとめた。供試した品種の、ほだ付き率は、接種年の冬に当場の常法により調査し、中低温菌については、春期の自然発生を、中高温系の品種、発生時期のわからないものについては浸水発生試験によりそれぞれの品種特性を調査した。発生量については接種から、2夏経過したほだ木について5年間の発生量のうち春期の自然発生開始から、4月30日までの1シーズンに発生した子実体のほだ木1本当たりの発生量と子実体1個当たりの重量、5年間の総発生量と子実体1個当たりの重量について、生重量を取りまとめた。

表-1-1 供試系統

品種	市販 選抜菌	S 60	S 61	S 62	S 63	H 元	H 2	H 3	H 4	H 5
A57	市販	○								○
G4	市販									○
H60	市販					○		○		
K10	市販	○		○						
K15	市販					○	○	○	○	○
K13	市販	○			○	○				
K61	市販	○		○						
K65	市販					○				
K69	市販									○
KB21	市販					○				
M12	市販	○	○	○	○	○	○			
M13	市販									○
M25	市販			○	○	○	○			
M29	市販	○	○	○						
M39	市販									○
M43	市販		○	○				○	○	○
M44	市販	○			○					○
品種	市販 選抜菌	S 60	S 61	S 62	S 63	H 元	H 2	H 3	H 4	H 5
M44S	市販									○
M45	市販		○							○
M48	市販			○	○	○	○	○	○	
M47	市販			○	○	○	○			
ME6V	市販							○		
ME72	市販	○								
ME98	市販				○		○	○		○
ME9K	市販									○
ME4H	市販			○						
S12	市販								○	
Y76	市販							○		
Y87	市販								○	
NO.40	選抜									
NO.40.1	選抜			○			○			
NO.40-1A	選抜							○	○	
NO.40.2	選抜			○						
NO.44	選抜				○					
品種	市販 選抜菌	S 60	S 61	S 62	S 63	H 元	H 2	H 3	H 4	H 5
NO.45	選抜			○						
NO.46	選抜			○						
NO.46-A	選抜							○	○	
NO.47	選抜	○	○	○	○					
NO.47.A	選抜					○				
NO.47.B	選抜					○				
NO.48	選抜	○	○	○	○	○				
NO.48.A	選抜							○		
NO.48.B	選抜								○	
NO.49	選抜	○	○							
NO.49.A	選抜							○		
NO.50	選抜	○	○							
NO.50.A	選抜					○				
NO.50.B	選抜					○				
NO.51	選抜	○	○							
NO.51.A	選抜				○					
NO.52	選抜	○	○							

表一—2 供試系統

品種	市販 選抜菌	S 60	S 61	S 62	S 63	H 元	H 2	H 3	H 4	H 5	品種	市販 選抜菌	S 60	S 61	S 62	S 63	H 元	H 2	H 3	H 4	H 5	品種	市販 選抜菌	S 60	S 61	S 62	S 63	H 元	H 2	H 3	H 4	H 5
NO.53.1	選抜		○								NO.64.1	選抜						○				林 2	選抜			○	○	○	○	○	○	○
NO.53.2	選抜		○								NO.65	選抜							○				R2-NO.47	選抜			○					
NO.53.3	選抜		○								NO.66	選抜									○		R2-NO.48	選抜			○					
NO.54.1	選抜		○								NO.68.1	選抜									○	○	R2-NO.56	選抜			○					
NO.54.2	選抜		○								NO.68.2	選抜									○		R2-P1	選抜		○						
NO.55	選抜		○								NO.69	選抜										○	R2-P2	選抜		○						
NO.56	選抜			○	○	○	○				NO.70	選抜										○	R2-P3	選抜		○						
NO.56-A	選抜					○		○	○	○	NO.71	選抜										○	林 4	選抜		○	○					
NO.56.B	選抜						○				NO.72	選抜										○	R4-P1	選抜		○						
NO.57	選抜			○	○						F11	選抜									○	R4-P2	選抜		○							
NO.57.A	選抜						○				F12	選抜									○	R4-P3	選抜		○	○						
NO.58	選抜				○	○	○				NO.211	選抜	○	○								林 7	選抜						○	○		
NO.58-A	選抜					○	○	○	○		F211.2	選抜					○					合計										
NO.59	選抜				○	○	○				NO.211.3	選抜					○	○				市販系統	67	8	4	9	7	9	6	7	8	9
NO.60.1	選抜						○				F313	選抜	○	○							○	選抜系統	114	6	14	16	14	13	18	11	11	11
NO.61	選抜						○				F313.1	選抜									○	合計	181	14	18	25	21	22	24	18	19	20
NO.62.1	選抜						○				F313.2	選抜									○											
NO.63.1	選抜						○				F901	選抜									○											

III 結果及び考察

発生状況並びに選抜経過については以下のとおりである。

1. 昭和60年度設定区

昭和60年度設定区の子実体発生状況について表-2に示す。NO.47は、M29同等の自然発生が見られた。NO.48については発生量はNO.47より少ないものの子実体1個当たりの重量が20.5gであった。NO.47とM29との比較では、発生のピークがM29では、接種3年目であるのに対してNO.47では接種2年目にピークが見られた。NO.49については、子実体の発生が見られず、中低温域での自然発生には不向きであることがうかがわれる。

表—2 S60年度設定試験区

品種	供試 本数 (本)	ほど付き率		S62年1本 当り収穫量			S63年1本 当り収穫量			H元年1本 当り収穫量			H2年1本 当り収穫量			H3年1本 当り収穫量			合計		
		材内部 (%)	材表面 (%)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)
NO.51	20	88.0	66.6	0.2	3.5	23.3	0.1	0.8	15.0	0.1	0.3	5.0	0.7	5.8	8.8	0.5	5.0	10.0	1.4	15.3	10.9
NO.52	20	91.3	70.2	1.3	17.3	13.3	1.2	19.0	16.5	1.6	17.0	11.0	0.7	11.5	16.4	1.2	13.5	11.7	5.9	78.3	13.4
NO.47	20	87.7	72.9	11.2	131.3	11.7	0.7	9.3	14.2	2.0	33.5	16.8	1.8	45.5	25.3	0.5	16.0	32.0	16.2	235.5	14.6
NO.48	20	95.4	82.2	2.8	71.0	25.4	0.4	6.0	15.0	2.8	50.0	18.2	2.2	38.5	17.5	0.8	17.3	23.0	8.9	182.8	20.5
NO.49	20	80.2	81.0							0.1	0.5	10.0							0.1	0.5	10.0
NO.50	20	98.0	78.6	0.2	3.3	21.7	0.3	6.8	22.5	0.4	3.8	10.7	0.3	9.3	37.0	0.5	8.5	18.9	1.5	31.5	21.0
M29	45	98.5	73.4	3.8	70.7	18.7	7.2	112.6	15.5	1.7	30.2	17.4	1.3	24.7	19.1	0.9	19.9	22.4	14.9	258.0	17.3
M12	45	93.7	67.1	3.0	56.7	19.2	5.2	119.2	22.9	3.7	64.3	17.2	3.3	54.9	16.5	1.8	50.9	28.6	17.0	346.0	20.4
K10	45	95.5	75.1	2.5	73.1	28.9	1.5	23.5	15.4	4.1	73.8	18.2	2.9	52.9	18.5	2.2	40.6	18.8	13.2	264.0	20.1
K13	45	96.4	81.2	0.4	11.0	29.1	3.6	86.8	23.8	5.0	96.7	19.3	5.8	111.4	19.3	4.5	103.2	23.1	19.3	409.1	21.2
Me72	44	97.4	90.3	0.9	15.7	16.8	1.6	24.7	15.7	2.5	40.7	16.0	0.9	15.2	17.2	0.6	13.0	20.4	6.6	109.2	16.6

2. 昭和61年度設定区

昭和61年度設定区の子実体発生状況について表-3に示す。昭和60年度設定区同様NO.47、NO.48、NO.53-1において比較的良好な発生量が見られた。NO.50については、1個当たりの重量が20g近くあった。NO.47においては昭和60年度設定区同様接種2年目に特に集中して発生する傾向がうかがわれた。

表-3 S61年度設定試験区

品 種	供試本数(本)	ほだ付き率		S63年1本 当り収穫量			H元年1本 当り収穫量			H2年1本 当り収穫量			H3年1本 当り収穫量			H4年1本 当り収穫量			合 計		
		材内部 (%)	材表面 (%)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)
NO.51	15	97.4	89.7				0.1	1.3	20.0	0.6	14.3	23.9	1.0	8.3	8.3	0.9	9.3	10.0	2.6	33.3	12.8
NO.52	14	92.7	82.8	1.1	15.0	13.1	0.2	2.1	10.0				0.4	5.7	16.0	0.3	1.8	6.3	2.0	24.6	12.3
NO.53-1	15	95.8	82.6	2.5	39.7	16.7	0.9	13.7	14.6				0.3	5.3	16.0	2.2	34.7	15.8	6.0	93.3	15.6
NO.53-2	15	86.3	76.8	2.2	41.3	18.8	1.4	18.7	13.3							1.9	15.0	8.0	5.5	75.0	13.7
NO.53-3	15	91.9	77.6	1.0	16.3	16.3	0.7	5.3	8.0				0.1	0.7	5.0	1.3	16.3	12.3	3.1	38.7	12.3
NO.54-1	15	86.0	77.5																		
NO.54-2	15	97.1	90.3																		
NO.47	15	95.6	79.7	15.5	204.3	13.2	5.7	76.3	13.5	1.9	31.7	16.4	1.1	23.7	20.9	0.9	21.0	24.2	25.1	357.0	14.2
NO.48	15	86.5	76.2	5.4	15.7	2.9	3.7	56.0	15.0	3.8	63.3	16.7	0.7	9.7	14.5				13.6	144.7	10.6
NO.49	15	91.8	88.9													0.3	5.3	16.0	0.3	5.3	16.0
NO.50	15	97.2	90.1	0.1	2.7	20.0				0.5	10.3	19.4	0.3	7.0	21.0	0.1	0.7	10.0	1.1	20.7	19.4
NO.55	15	93.1	88.8				0.1	0.7	10.0				0.1	1.0	15.0				0.1	1.7	12.5
F211	25	95.5	84.4																		
F313	25	95.5	85.0	0.8	14.2	17.8	2.9	27.0	9.4	1.7	26.6	15.5	0.6	8.2	12.9	0.4	6.6	16.5	6.4	82.6	12.8
M29	42	96.9	84.3	6.2	112.9	18.2	4.1	59.4	14.5	2.4	41.4	17.4	1.2	23.2	19.5	0.2	6.3	29.4	14.1	243.2	17.3
M12	26	95.8	86.6	4.4	8.5	1.9	2.5	30.5	12.2	2.8	54.3	19.4	1.2	27.0	22.5	2.8	75.7	27.0	13.7	196.0	14.3

3. 昭和62年度設定区

昭和62年度設定区の子実体発生状況について表-4に示す。NO.40-1、NO.40-2、NO.46、NO.47、NO.48、NO.40-2、R2P1、R2P2、R2P3において、比較的良好な発生が見られた。特にNO.40-2、R2P3は5年間で、700g/本以上の収穫があり、1個重も20g/個以上あった。

表-4-1 S62年度設定試験区

品 種	供試本数(本)	ほだ付き率		H元年1本 当り収穫量			H2年1本 当り収穫量			H3年1本 当り収穫量			H4年1本 当り収穫量			H5年1本 当り収穫量			合 計		
		材内部 (%)	材表面 (%)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)
NO.40-1	15	96.8	84.7	5.0	93.3	18.7	10.6	190.0	17.9	9.3	183.3	19.8	5.8	140.3	24.2	2.5	43.0	17.0	33.2	650.0	19.6
NO.40-2	15	97.7	84.7	1.1	21.3	20.0	6.9	179.0	26.1	9.7	192.7	19.9	9.5	231.7	24.5	7.6	77.3	10.2	34.7	702.0	20.3
NO.56	15	95.7	85.2	7.2	86.0	11.9	4.3	70.7	16.3	0.4	9.0	22.5	1.1	22.4	19.8	4.1	53.7	13.2	17.1	241.7	14.1
NO.57	15	99.1	87.8																		
NO.45	15	93.2	67.1	0.3	2.3	7.0													0.3	2.3	7.0
NO.46	15	95.0	89.2	0.2	1.3	6.7	4.9	41.0	8.3	1.1	8.7	8.2	2.5	32.7	13.2	1.9	20.3	10.5	10.6	104.0	9.8

表—4—2 S62年度設定試験区

品 種	供試 本数 (本)	ほだ付き率		H元年1本 当り収穫量			H2年1本 当り収穫量			H3年1本 当り収穫量			H4年1本 当り収穫量			H5年1本 当り収穫量			合 計		
		材内部 (%)	材表面 (%)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)
NO.47	14	87.3	78.8	1.1	11.1	9.7	6.9	103.2	15.1	4.7	88.6	18.8	2.5	48.2	19.3	1.9	28.2	14.6	17.1	279.3	16.3
NO.48	15	94.2	75.5	1.1	16.0	15.0	6.4	122.0	19.1	4.3	67.0	15.7	3.1	52.5	16.8	0.7	9.0	12.3	15.6	266.5	17.1
林2		98.1	88.7																		
林4	15	94.8	71.2	0.1	5.3	40.0							1.0	33.7	33.7	0.4	10.0	25.0	1.5	49.0	32.0
R2P1	15	96.0	80.5	4.4	83.7	19.0	4.7	79.3	16.8	4.4	122.7	27.9	5.7	131.8	23.2	7.3	123.7	17.0	26.5	541.1	20.5
R2P2	15	98.4	87.8	2.7	74.0	27.8	8.3	197.0	23.8	4.9	126.0	25.9	6.7	137.1	20.6	4.9	78.3	16.1	27.3	612.5	22.4
R2P3	15	88.7	82.9	6.1	122.0	20.0	16.1	323.0	20.0	4.7	117.7	25.2	5.5	89.2	16.1	3.3	88.0	26.9	35.7	739.9	20.7
R4P1	15	95.5	77.0										2.6	44.0	16.9	0.3	5.0	18.8	2.9	49.0	17.1
R4P2	15	92.2	86.3										0.3	6.3	23.8	0.2	4.3	21.7	0.5	10.7	22.9
R4P3	15	91.1	79.4													0.4	10.0	25.0	0.4	10.0	25.0
M12	25			8.6	183.3	21.3	9.2	151.8	16.5	6.4	161.0	25.0	7.0	166.0	23.7	6.8	75.2	11.1	38.0	737.3	19.4
M25	50			7.6	101.5	13.4	3.3	77.7	23.4	3.8	87.7	23.0	4.0	86.0	21.6	2.6	37.9	14.6	21.3	390.8	18.3
M29	50			12.8	149.3	11.6	3.9	59.1	15.3	2.4	43.4	18.2	0.6	14.1	22.0	0.1	3.4	34.0	19.8	269.3	13.6
K10	50			5.8	107.6	18.7	12.3	201.6	16.4	14.5	236.1	16.3	8.2	152.2	18.6	5.0	83.3	16.6	45.8	780.8	17.1

4. 昭和63年度設定区

昭和63年度設定区の子実体発生状況について表—5に示す。NO.56、NO.58、NO.47、NO.48、F313、林2において比較的良好な発生が見られた。特に5年間の合計で、NO.48においては、377.9g/本、林2では240.8g/本の収量があった。子実体1個当たりの重量は、林2で、21.1g/個であった。

表—5 S63年度設定試験区

品 種	供試 本数 (本)	ほだ付き率		H2年1本 当り収穫量			H3年1本 当り収穫量			H4年1本 当り収穫量			H5年1本 当り収穫量			H6年1本 当り収穫量			合 計		
		材内部 (%)	材表面 (%)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)
NO.56	23	99.4	78.3	8.7	100.9	11.7	0.3	3.3	12.5	1.4	38.5	26.8	2.4	33.0	13.6	0.1	1.1	12.5	12.9	176.7	13.7
NO.57	21	93.7	66.4																		
NO.58	19	94.8	74.6	3.6	42.1	11.6	2.1	33.4	15.9	1.4	20.0	14.6	0.5	3.9	7.5				7.6	99.5	13.0
NO.59	21	93.7	67.5	0.1	0.5	10.0													0.1	0.5	10.0
NO.51-A	23	95.7	78.8	0.7	7.2	11.0	0.1	0.9	20.0	0.2	0.9	5.0				0.2	2.0	11.3	1.0	10.9	10.4
NO.44	21	95.4	65.2							0.1	1.4	30.0	0.3	4.3	12.8				0.4	5.7	15.0
NO.47	21	93.8	66.1	4.1	80.0	19.3	0.8	15.2	20.0	0.9	23.1	26.9	4.1	55.5	13.4	3.4	43.8	12.8	13.3	217.6	16.3
NO.48	21	97.1	75.4				6.7	133.8	20.1	7.3	131.0	17.9	7.4	82.6	11.2	2.4	30.5	12.8	23.8	377.9	15.9
F211	44	89.3	65.5																		
F313	43	92.3	48.0	1.7	20.9	12.7	1.8	19.4	11.0	4.8	50.6	10.6	3.2	28.8	9.1				11.4	119.8	10.5
林2	27			0.9	4.6	5.1	2.8	69.1	24.5	3.4	95.9	28.5	3.8	62.6	16.4	0.5	8.5	16.4	11.4	240.8	21.1
M12	26	97.3	62.2	9.9	153.1	15.5	3.0	67.5	22.2	4.7	103.3	22.0	5.7	84.2	14.9	1.4	23.7	16.6	24.7	431.7	17.5
M25	44	93.2	58.7				4.6	62.8	13.8	4.5	58.9	13.0	0.8	12.7	15.1	0.1	1.8	16.0	10.1	136.3	13.5
Me98	26			10.2	165.4	16.2	1.8	50.4	27.9	4.0	102.9	25.7	4.3	83.1	19.3	0.8	14.8	17.5	21.2	416.5	19.7
K13	30			4.5	122.8	27.3	12.7	278.7	22.0	11.5	272.8	23.7	9.9	140.5	14.1	4.3	64.3	15.1	42.9	879.2	20.5

5. 平成元年度設定区

平成元年度設定区の子実体発生状況について表-6に示す。NO.50-A、NO.50-B、林4、R4P3を除いて比較的良好な発生が見られた。特に5年間で、林2では、608.3g/本、NO.47-A、NO.47-Bでは、約500g/本、NO.48では、500g/本以上の発生が見られた。子実体1個当たりの重量は、5年間で林2では、23.1g/個であった。

表-6 H元年度設定試験区

品 種	供試本数(本)	ほだ付き率		H3年1本 当り収穫量			H4年1本 当り収穫量			H5年1本 当り収穫量			H6年1本 当り収穫量			H7年1本 当り収穫量			合 計		
		材内部 (%)	材表面 (%)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)
NO.56	20	99.3	82.0	0.3	6.3	25.0	3.6	77.3	21.5	2.4	31.0	12.9				2.3	58.8	25.5	8.6	173.3	20.3
NO.56-A	20	93.2	68.0	1.1	19.8	18.8	3.2	69.3	22.0	3.2	40.0	12.7	0.1	0.8	15.0	1.7	46.8	28.3	9.1	176.5	19.5
NO.58	20	93.2	80.8	3.5	55.5	16.1	5.5	106.8	19.6	1.6	29.5	19.0	0.3	3.8	12.5				10.8	195.5	18.2
NO.58-A	21	89.5	66.2	6.1	101.7	16.7	8.0	147.4	18.4	4.1	46.0	11.1							18.2	295.0	16.2
NO.59	21	93.2	77.4																		
NO.47-A	19	87.0	59.5	11.7	160.8	13.8	10.8	176.3	16.3	5.7	70.8	12.5	1.9	17.6	9.1	3.7	70.3	18.8	33.8	495.8	14.7
NO.47-B	21	93.7	62.3	11.6	177.4	15.3	11.0	192.4	17.4	5.5	71.6	13.0	1.4	13.6	9.5	2.3	43.1	18.9	31.9	497.9	15.6
NO.50-A	21	93.4	61.0				0.2	7.9	33.0	0.6	15.2	24.6	0.1	2.4	16.7	0.3	4.1	14.2	1.3	29.5	23.0
NO.50-B	21	85.0	62.4				0.6	5.5	9.6	0.4	11.9	27.8	0.2	4.5	19.0	1.0	12.4	13.0	2.2	34.3	15.7
NO.48	35	94.6	75.2				16.0	315.1	19.7	12.0	127.9	10.7	1.4	15.1	11.0	3.7	63.6	17.4	33.0	521.7	15.8
林2	36	92.9	63.5	9.5	212.6	22.4	9.6	267.1	28.0	4.9	77.2	15.7	0.4	6.7	15.0	1.9	44.7	23.3	26.3	608.3	23.1
林4	36	89.2	73.2	0.1	3.6	32.5	0.2	6.4	28.8	3.8	79.9	20.8				0.1	1.7	20.0	4.3	91.5	21.5
R4P3	35	87.5	66.2							0.1	4.1	29.0				0.0	0.3	10.0	0.2	4.4	25.8
KB21	40			11.8	177.5	15.0	18.8	252.6	13.4	12.9	71.1	5.5	0.4	4.1	9.7	3.2	22.1	6.9	47.2	527.5	11.2
M12	23	97.8	80.0	11.1	190.7	17.2	13.1	236.1	18.0	6.3	95.7	15.1	0.9	12.6	14.5	2.3	49.6	21.1	33.7	584.6	17.3
M25	52			19.7	251.3	12.7	12.1	172.4	14.2	3.4	39.0	11.5	0.1	1.4	10.0	0.3	3.8	14.3	35.6	468.0	13.2
K13	40	93.5	70.4	8.7	149.9	17.2	18.8	296.8	15.8	14.8	133.3	9.0	2.6	27.3	10.6	3.3	58.9	17.7	48.1	666.0	13.8
K15	47			3.5	40.3	11.7	7.9	171.7	21.6				0.5	7.2	16.2	0.8	15.7	20.6	12.6	235.0	18.7

6. 平成2年度設定区

平成2年度設定区の子実体発生状況について表-7に示す。NO.57-A、NO.48-A、NO.49-A、F211-2、F211-3、を除いて比較的良好な発生が見られた。5年間で、NO.61-1では、428.1g/本の発生量が見られた。子実体1個当たりの重量は、NO.40-1Aでは25.6g/個であった。NO.40を、2次選抜菌として選抜した。平成2年度設定区については、継続して平成8年度まで継続調査を行う予定である。

表-7-1 H2年度設定試験区

品 種	供試本数(本)	ほだ付き率		H4年1本 当り収穫量			H5年1本 当り収穫量			H6年1本 当り収穫量			H7年1本 当り収穫量			年1本当り 収 穫 量			合 計		
		材内部 (%)	材表面 (%)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)
NO.40-1	35	92.9	79.4	5.5	122.4	22.3	10.4	161.9	15.5	2.7	60.6	22.1	1.5	41.3	26.3				20.2	386.1	19.1
NO.40-1A	29	96.7	66.2	1.6	103.8	64.0	3.9	66.8	17.3	3.1	58.8	18.7	4.8	114.5	23.7				13.5	343.9	25.6
NO.56	35	93.1	68.6	4.9	138.6	28.0	5.7	63.6	11.1	0.0	0.1	5.0	3.2	77.3	24.2				13.9	279.6	20.1

表一七—2 H2年度設定試験区

品 種	供試 本数 (本)	ほだ付き率		H4年1本 当り収穫量			H5年1本 当り収穫量			H6年1本 当り収穫量			H7年1本 当り収穫量			年1本当り 収 穫 量			合 計		
		材内部 (%)	材表面 (%)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)
NO.56-B	27	96.1	76.4	5.2	131.1	25.3	4.5	53.3	11.8	0.0	0.7	20.0	5.6	138.1	24.9				15.3	323.3	21.1
NO.57-A	16	91.7	75.6																		
NO.58	35	90.0	61.8	4.3	136.4	31.8	4.9	87.4	18.0	0.3	4.7	15.0	3.9	72.3	18.5				13.4	300.9	22.5
NO.58-A	24	91.0	62.7	2.7	64.2	23.7	10.7	147.1	13.8	2.1	30.0	14.4	1.0	14.2	14.2				16.5	255.4	15.5
NO.60-1	16	92.0	74.9	7.7	186.9	24.3	7.8	117.8	15.2	2.8	39.4	14.0	3.4	84.1	24.5				21.7	428.1	19.7
NO.61	13	88.5	38.6	9.1	105.0	11.6	3.2	38.5	11.9	1.0	13.1	13.1	0.6	10.4	16.9				13.9	166.9	12.0
NO.62-1	17	96.5	67.3	4.3	85.9	20.0	5.9	47.4	8.0				1.9	34.7	18.4				12.1	167.9	13.9
NO.63-1	16	93.5	61.2	14.7	219.4	14.9	11.5	100.6	8.8	0.6	5.9	10.6	2.3	31.9	13.8				29.1	357.8	12.3
NO.64-1	16	90.2	65.5	16.3	124.7	7.7	5.4	25.0	5.0				3.7	33.4	9.1				25.4	183.1	7.2
NO.46-A	25	98.2	69.8	10.2	99.6	9.8	3.3	25.6	7.8				5.4	47.8	8.9				18.9	173.0	9.1
NO.48-A	32	85.3	60.0	1.1	20.3	19.1	1.7	24.4	14.4				1.3	24.8	18.9				4.1	69.5	17.1
NO.49-A	16	82.6	66.8																		
F211-3	20	92.9	76.2	1.5	18.0	12.4	0.4	6.0	15.0				0.7	5.8	8.9				2.5	30.0	11.9
F211-2	20	90.1	59.5	3.4	23.8	7.1	4.8	48.3	10.0				1.0	10.5	11.1				9.1	82.5	9.1
林2	45	92.1	56.6	11.8	183.2	15.5	5.9	107.0	18.0	1.2	24.6	19.7	1.9	41.8	21.6				20.9	356.6	17.1
M12	50			10.2	196.4	19.3	6.9	109.4	15.8	1.2	15.8	13.6	2.5	57.8	22.9				20.8	379.4	18.3
M25	45	96.4	67.0	20.0	274.2	13.7	5.4	53.1	9.8	0.5	7.2	13.5	2.4	26.4	11.1				28.3	361.0	12.7
K15	49			19.9	370.1	18.6				0.6	12.9	23.3	2.4	74.5	30.9				22.8	457.5	20.1
Me98	44	90.3	72.1	10.3	248.6	24.3	6.8	119.7	17.5	1.5	25.6	16.1	3.3	71.4	21.7				22.0	465.2	21.2

7. 平成3年設定区

平成3年度設定区の子実体発生状況について表-8に示す。NO.40-1-A、NO.58-A、NO.48-B、F213-2、林2において良好な発生状況がみられた。特に3年間で、林2では248g/本の発生があり、子実体1個当たりの重量も20.3gと良好であった。平成3年設定区については、継続して平成9年度まで継続調査を行う予定である。

表一八—1 H3年度設定試験区

品 種	供試 本数 (本)	ほだ付き率		H5年1本 当り収穫量			H6年1本 当り収穫量			H7年1本 当り収穫量			年1本当り 収 穫 量			年1本当り 収 穫 量			合 計		
		材内部 (%)	材表面 (%)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)
NO.40-1-A	25	93.5	78.4	0.9	14.8	16.8	2.4	12.6	5.2	6.4	161.6	25.3							9.7	189.0	19.4
NO.56-A	25	95.7	78.4	3.6	34.8	9.8				2.4	55.8	22.9							6.0	90.6	15.1
NO.58-A	25	93.4	70.8	5.6	80.2	14.4	0.7	8.8	12.2	3.8	51.2	13.6							10.0	140.2	14.0
NO.65	17	94.7	91.3							0.1	1.2	10.0							0.1	1.2	10.0
NO.46-A	17	95.0	61.6	1.9	17.9	9.2	0.4	4.1	10.0	5.5	30.6	5.6							7.8	52.6	6.7
NO.48-B	17	89.1	69.5	10.5	115.3	11.0				0.1	2.6	22.5							10.6	117.9	11.1
F211-3	35	91.9	74.9																		
F213-2	35	82.0	56.3	8.4	80.7	9.6	0.4	5.3	14.2	4.4	50.0	11.4							13.2	136.0	10.3
F901	24	97.2	81.9							0.9	18.8	21.4							0.9	18.8	21.4

表—8—2 H3年度設定試験区

品 種	供試 本数 (本)	ほだ付き率		H5年1本 当り収穫量			H6年1本 当り収穫量			H7年1本 当り収穫量			年1本当り 収 穫 量			年1本当り 収 穫 量			合 計		
		材内部 (%)	材表面 (%)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)
林2	35	94.7	81.3	6.2	117.1	18.8	2.7	45.3	16.7	3.3	85.6	26.0						12.2	248.0	20.3	
林7	35	94.3	74.6	1.9	24.7	12.3	0.4	4.2	10.7	5.6	56.6	10.0						8.0	85.6	10.7	
H6	19									4.5	109.2	24.1						4.5	109.2	24.1	
H6-22	21			0.1	1.7	11.7				2.3	59.8	26.1						2.4	61.4	25.3	
Me6V1	12	99.1	85.7	1.0	10.8	10.8	0.2	0.5	3.0	4.6	54.2	11.8						5.8	65.5	11.4	
Me9	45	90.3	69.8	6.5	104.7	16.2	3.3	61.0	18.4	3.6	92.8	25.5						13.4	258.4	19.3	
M6	30	94.0	75.8	0.4	3.3	7.7	0.4	4.3	10.8	2.3	41.6	18.1						3.1	49.2	15.7	
M8	23	95.2	72.3							0.1	0.7	7.5						0.1	0.7	7.5	
K5	30	93.7	82.0	14.0	164.5	11.8	1.4	26.8	19.2	5.8	133.2	23.0						21.2	324.5	15.3	

8. 平成4年設定区

平成4年度設定区の子実体発生状況について表-9に示す。NO.66、NO.68-1、NO.68-2、F12、F313-2について2年間で150g/本以上と、平成6~7年の2年間においては比較的良好な発生がみられた。平成4年設定区については、継続して平成10年度まで継続調査を行う予定である。

表—9 H4年度設定試験区

品 種	供試 本数 (本)	ほだ付き率		H6年1本 当り収穫量			H7年1本 当り収穫量			年1本当り 収 穫 量			年1本当り 収 穫 量			年1本当り 収 穫 量			合 計		
		材内部 (%)	材表面 (%)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)
NO.56-A	22	98.0	83.1	0.6	8.0	13.5												0.6	8.0	13.5	
NO.58-A	21	81.7	77.9	0.7	11.7	16.3	5.8	124.5	21.4									6.5	136.2	20.9	
NO.66	21	80.5	73.6	2.5	35.5	14.1	10.8	131.9	12.3									13.3	167.4	12.6	
NO.68-1	20	79.8	61.6	1.6	18.8	11.7	8.2	160.0	19.5									9.8	178.8	18.2	
NO.68-2	20	59.6	63.8	2.5	27.5	11.0	11.4	137.5	12.1									13.9	165.0	11.9	
F11	20	92.6	89.4	0.1	0.8	15.0	5.5	88.3	16.2									5.5	89.0	16.2	
F12	20	79.5	67.1	3.3	54.8	16.6	7.0	140.3	20.2									10.3	195.0	19.0	
F313	30	78.5	68.1	0.4	4.8	11.2	5.8	52.7	9.1									6.2	57.5	9.2	
F313-1	25	46.4	51.5	0.4	7.2	16.4	5.3	54.4	10.2									5.8	61.6	10.7	
F313-2	29	67.1	65.7	1.5	21.6	14.9	10.8	135.2	12.6									12.2	156.7	12.8	
F901	29	90.0	76.4				6.0	117.5	19.7									6.0	117.5	19.7	
K15	20	19.7	45.6	2.1	25.3	12.0	9.9	139.5	14.1									12.0	164.8	13.7	

9. 平成5年設定区

平成5年度設定区の子実体発生状況について表-10に示す。NO.68-1、F313、F313-1において平成7年に70g以上の発生量がみられた。平成5年設定区については、継続して平成11年度まで継続調査を行う予定である。

表-10 H5年度設定試験区

品 種	供試 本数 (本)	ほだ付き率		H7年1本 当り収穫量			年1本当り 収 穫 量			年1本当り 収 穫 量			年1本当り 収 穫 量			合 計			
		材内部 (%)	材表面 (%)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	個数 (個)	重量 (g)	個重 (g)	
NO.69	21	87.7	78.3	2.1	49.1	23.4											2.1	49.1	23.4
NO.70	21	90.7	80.5	0.1	2.9	20.0											0.1	2.9	20.0
NO.71	21	91.2	86.7	0.1	1.7	17.5											0.1	1.7	17.5
NO.72	21	96.1	78.5																
NO.68-1	21	93.6	79.4	6.8	135.2	19.9											6.8	135.2	19.9
NO.56-A	21	91.4	71.2																
F313	23	77.8	75.9	6.0	82.6	13.8											6.0	82.6	13.8
F313-1	26	84.0	78.3	3.7	70.0	19.0											3.7	70.0	19.0
F313-2	28	89.1	61.6	4.5	50.0	11.1											4.5	50.0	11.1
林2	29	76.4	69.2	3.1	65.5	21.3											3.1	65.5	21.3
林7	30	92.0	68.8	3.1	33.7	10.7											3.1	33.7	10.7
M13	25	92.5	85.0	1.3	31.4	24.5											1.3	31.4	24.5
M43	22	94.5	85.0	9.2	224.5	24.3											9.2	224.5	24.3
Me9K	24	85.6	77.7	11.0	163.5	14.8											11.0	163.5	14.8
Me98	45	82.1	75.1	6.0	141.1	23.5											6.0	141.1	23.5
K15	45	90.8	81.2	8.9	171.7	19.2											8.9	171.7	19.2

10. 選抜状況

試験結果から中低温系品種としてNO.40、NO.40-1、NO.48、NO.56、NO.58、F211、F213、F313、F902、中高温系品種としてR2P3、育種母材としてNO.55、NO.57、NO.59を選抜した。これらの系統については、今後も継続してほだ付調査、収穫量、形質特性について調査を継続する予定である

IV おわりに

昭和60年設定試験区から平成5年設定試験の子実体発生状況は以上のとおりであった。この結果8系統について2次選抜菌として選抜をおこなった。一方、他の系統についても今後継続して調査を行い、優良な系統については今後選抜菌に加えていく予定である。